

#### ④埼玉地区での取り組み

当時、埼玉地区には、「宣教の新しい課題を推進する委員会」（略して「宣新委」）という特設の委員会があり、地区として開拓的な宣教課題を検討していました。私はたまたま当時、この委員会の委員長をしていましたのですが、主に開拓伝道が課題でした。私自身は北海教区にいた頃の《共同牧会》を課題として提案していたのですが、この《共同牧会》という概念は、北海教区にいた私には自明のことであつたのですが、埼玉地区では中々共有出来ない困難な性質をもっていたようで、実質的なシェアリングには至りませんでした。そこに、この障がい者差別発言問題が起こつたわけです。それで宣新委では、教区レベルでのある意味で噛み合わない不毛のような論議を、地区活動の宣教課題として受け止め、教会が障がい者を巡つてどのようなことを受け止め、特に自らの差別性に気づくことを課題に、地区委員会に提案して、宣新委を発展解消して、前述の「障がいを負う人々と共に生きる教会を目指す懇談会」を立ち上げたのです。北海教区が教区の宣教課題の三本柱の一つに「障がいを負う人々との共生」を掲げていたことも大きな刺激になりました。今年で満十年を迎えるに至つたわけです。